



# 実施プログラム

いずれか  
1つのプログラムを  
受講できます

法政大学情報科学・理工学部・生命科学部では2014年より、高校生の皆さん、理科を身近なものと捉えられるような、科学技術の先端に触れることができる体験プログラムを実施しています。

多くの方のお申し込みをお待ちしております。

プログラムコード	担当する学部	テーマ	内容	定員
A1	情報科学部 コンピュータ 科学科	Scratchによる 簡単プログラミング体験	直感的なブロックの組み合わせでプログラミングを行うシステムであるScratchを使って、簡単なプログラミングを体験します。はじめに座学でコンピュータの仕組みとScratchの基本的な使い方、アルゴリズムの基本構造などに対応するScratchの部品とその意味を説明した後、簡単なゲームや数値計算のプログラムを作ります。	20人
A2	情報科学部 ディジタル メディア学科	ウェアラブル技術の 紹介と体験	ウェアラブルデバイスによって提供されるサービスをデモでご覧に入れます。例えば、人間の脳波を読み取り、集中度などを計測します。また、ジェスチャーにより機器の操作を行なうことができます。情報を表示や操作を行う腕時計型デバイス、眼鏡型のデバイスなどを触ってみてください。	20人
B1	理工学部 機械工学科	飛行機の操縦をしてみよう！ ～「飛ぶ仕組み」から 体験飛行まで～	飛行機が空を飛ぶために必要な、揚力・迎え角・抗力等の基本的航空力学を学び、FTD(Flight Training Device：模擬飛行装置 いわゆるシミュレーター)を使用してエルロン（補助翼）・エレベーター（昇降舵）・ラダー（方向舵）【※いずれも飛行機の操縦に必要な「舵】等を操作し、羽田空港ランウェイ34Lからの離陸、及び着陸の体験を行います。	25人
B2	理工学部 経営システム 工学科	G P S ガジェットの作製	各参加者はG P S 素子を組み込んだポータブルガジェットを作り、完成後に屋外に持ち出してその性能を確かめます。多少の手先の器用さと三角関数を知っていると理解が深まるでしょう。	9人
C1	生命科学部 生命機能学科	DNAがコードする 遺伝子の働き	生体巨大分子であるDNAには生命情報が蓄積されています。現在、生命科学の分野では、DNA上にコードされる遺伝子の機能を調べ、生命の設計図を解明する試みがなされています。このプログラムでは、分光光度計や電気泳動によるDNAの検出法、またDNA上の個々の遺伝子の働きを調べる方法を実験により体験し、生命の設計図の解き方について学びます。（高校2年生以上が対象です。）	15人
C2	生命科学部 応用植物科学科	植物の健康を守る －植物の病気を見てみよう	毎日見かける植物にも、病気にかかったものが多くあります。その原因の多くは目で見ただけではわかりづらい、菌類や細菌類です。植物の病気は庭の花や家庭菜園だけの問題だけでなく、地球上の食糧、環境問題につながります。このプログラムでは身近な植物に感染している微生物を光学顕微鏡、蛍光顕微鏡を用いて観察し、植物病の診断方法を学びます。	20人

----- FAXでお申し込みの方は以下にご記入ください。 -----

FAX : 042-387-6048

記入日： 年 月 日

①氏名（フリガナ）	②メールアドレス	
③ご住所		
④電話番号	⑤高校名	⑥学年
⑦ご希望のプログラムコード		
第1希望：	第2希望：	第3希望：